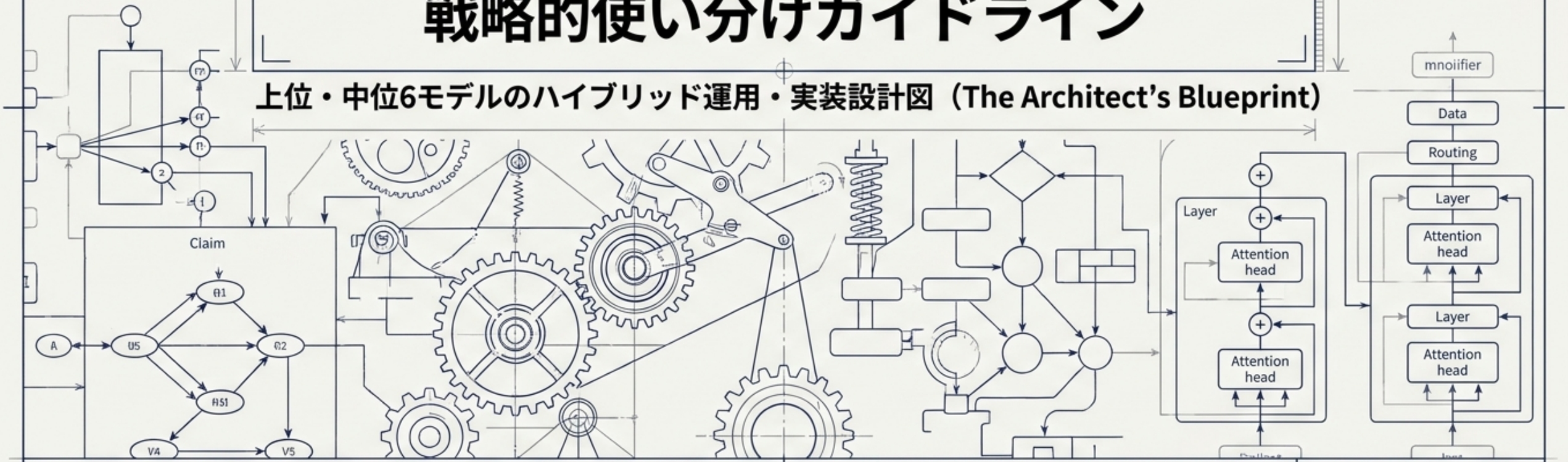
2026年 知財業務における最新世代LLM 戦略的使い分けガイドライン

2026年 知財業務における最新世代LLM 戦略的使い分けガイドライン

上位・中位6モデルのハイブリッド運用・実装設計図（The Architect’s Blueprint）



対象：企業知財部門・特許事務所・研究開発知財リエゾン

2026年11月版

Gemini Notebook

パラダイムシフト：単一モデルへの依存からの脱却

従来の単一モデル依存



- 全ての業務を**単一の最上位モデル**へ投入
- 結果：コスト高騰、レート制限のボトルネック、認知特性のミスマッチ

2026年の2層構造アーキテクチャ（100万トークン時代）

【上位モデル（Reasoning）】
Claude Fable 5.2 / GPT-6.2 Astra / Gemini 4 Carbon
超高難度推論・高リスク判断（深さ・精度）

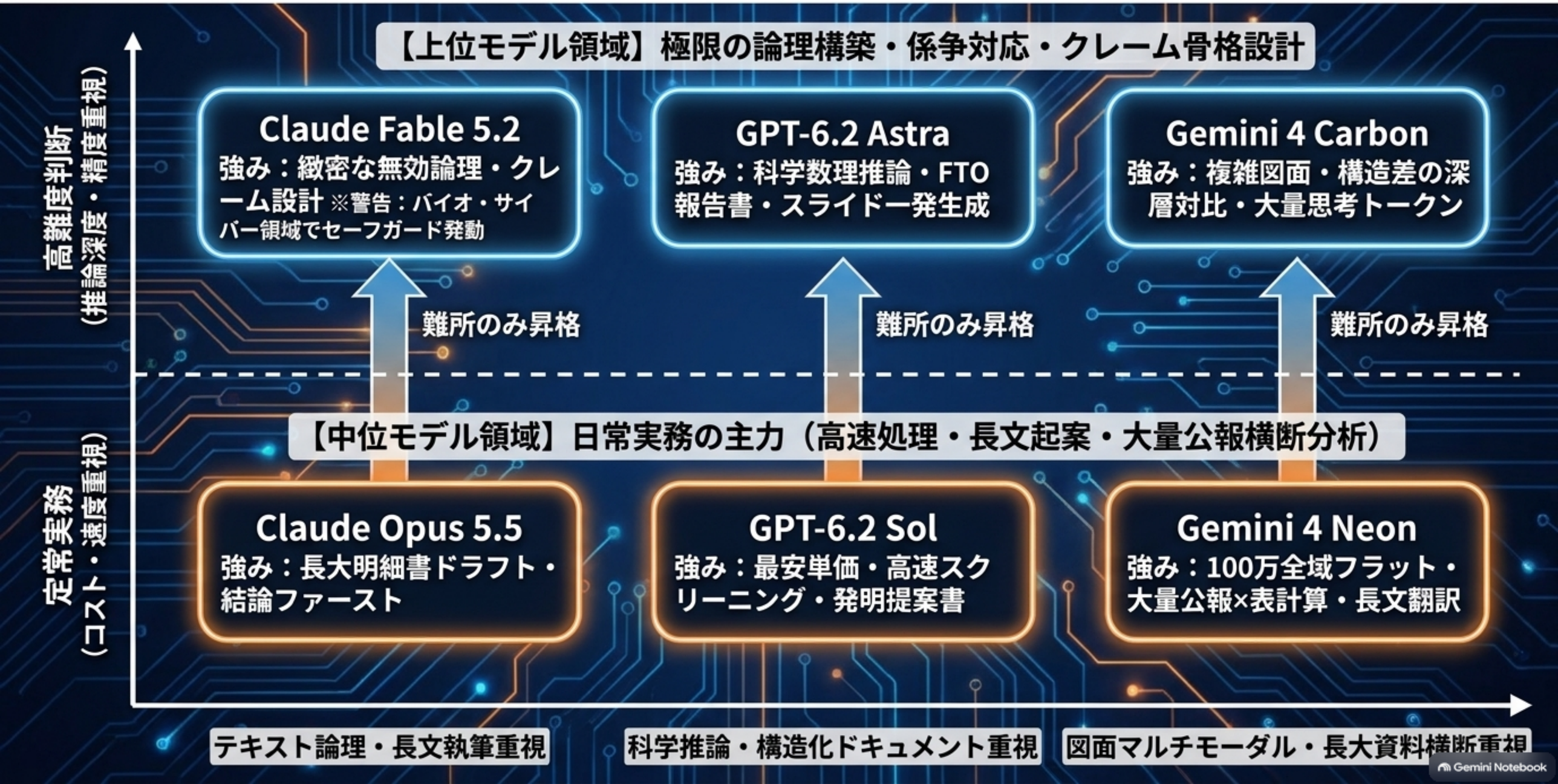


【中位モデル（Workhorse）】
Claude Opus 5.5 / GPT-6.2 Sol / Gemini 4 Neon
大量定型処理・長文起案（高速・低コスト）

知財業務の極端な負荷振幅（大量定型処理～超高難度推論）に対応するため、単一モデルへの依存から「用途別のハイブリッド運用」へパラダイムシフトする。

Gemini Notebook

The Roster: 最新6モデルのポジショニングと仕様比較



Gemini Notebook

ハイブリッド運用のための5つの設計思想（Strategic Axes）



Strategy 1: 知財バリューチェーン（業務工程×モデルの最適配置）

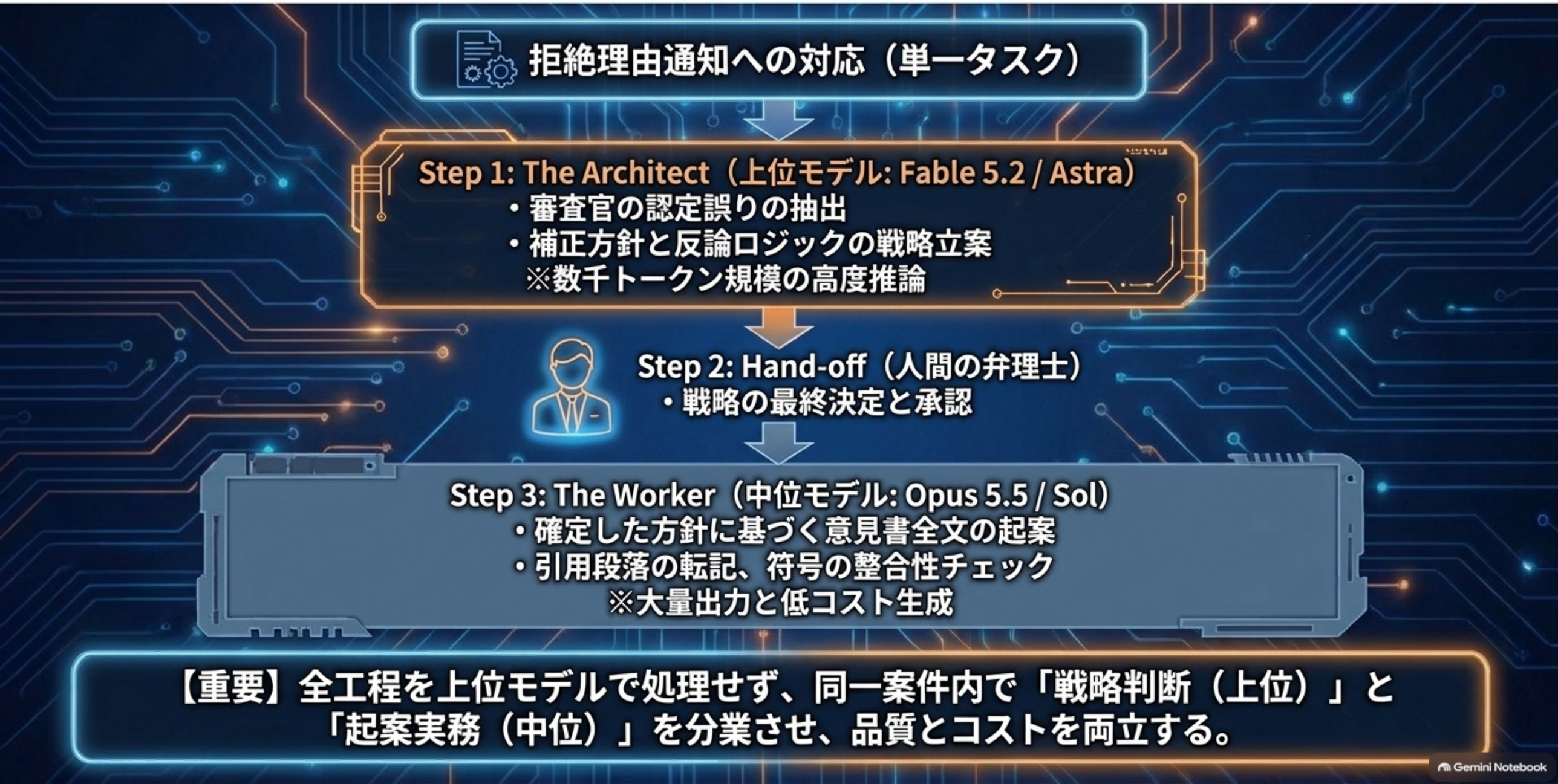
	Phase 1: 発明発掘	Phase 2: 先行技術・FTO	Phase 3: 明細書・翻訳	Phase 4: 中間処理・報告
High-Stakes Tasks 上位モデル	回避設計予測・科学的上位概念化 [Astra]	複雑図面対比 [Carbon] 無効論理構築 [Fable 5.2]	独立・従属クレームの権利範囲骨格設計 [Fable 5.2 / Astra]	経営層・事業部向けFTO報告書生成 [Astra]
Standard Tasks 中位モデル	ヒアリング記録の構造化 [Sol / Opus 5.5]	大量公報一次選別 [Sol] 複数PDF×表横断 [Neon]	明細書本文起案・記載要件点検 [Opus 5.5] 長文翻訳 [Neon]	拒絶理由検討・意見書ドラフト [Opus 5.5]

青色枠：日常・標準タスク（高速・コスト重視）

橙色枠：高難度・勝負所タスク（推論深度・精度重視）

Gemini Notebook

Strategy 2: エスカレーション（同一案件内での2段階パイプライン）



Gemini Notebook

Strategy 3: ドメイン特化と「セーフガードの罠」

Tech Domain
機械・構造・電気電子

→ **Core Model**
Gemini 4 Carbon / Neon
断面図や回路図など、厳密な視覚・テキスト対応（マルチモーダル）が必須

Tech Domain
ソフトウェア・情報通信

→ **Core Model**
Claude Opus 5.5 / GPT-6.2 系列
ソースコード解析やリポジトリ全体の横断的理解に優位性

Tech Domain
医薬・バイオ・
サイバーセキュリティ

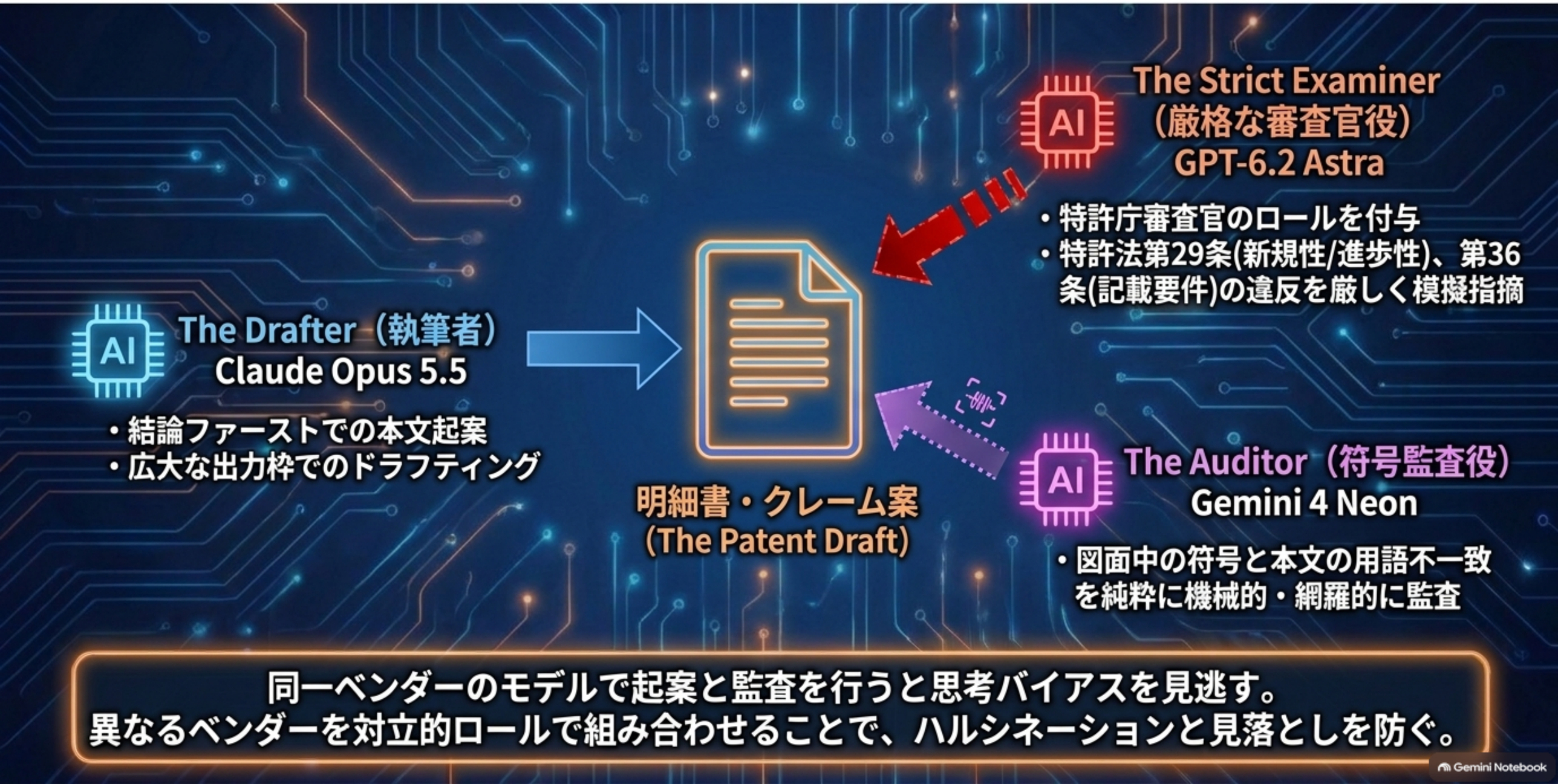


→ **Core Model**
GPT-6.2 Astra / Gemini 4 Carbon ✓
~~Claude Fable 5.2~~ ✗

【致命的な罠：Claude Fable 5.2 の自動フォールバック】
Fable 5.2はバイオ・サイバー領域のデータに反応する厳格なセーフガード分類器を持つ。正当な特許分析であってもブロックされ、下位モデル（Opus 5等）へ強制ダウングレードされる仕様。この領域ではAstraまたはCarbonを第一選択とする。

Gemini Notebook

Strategy 4: クロスレビュー（異種モデル合議によるリスク監査）

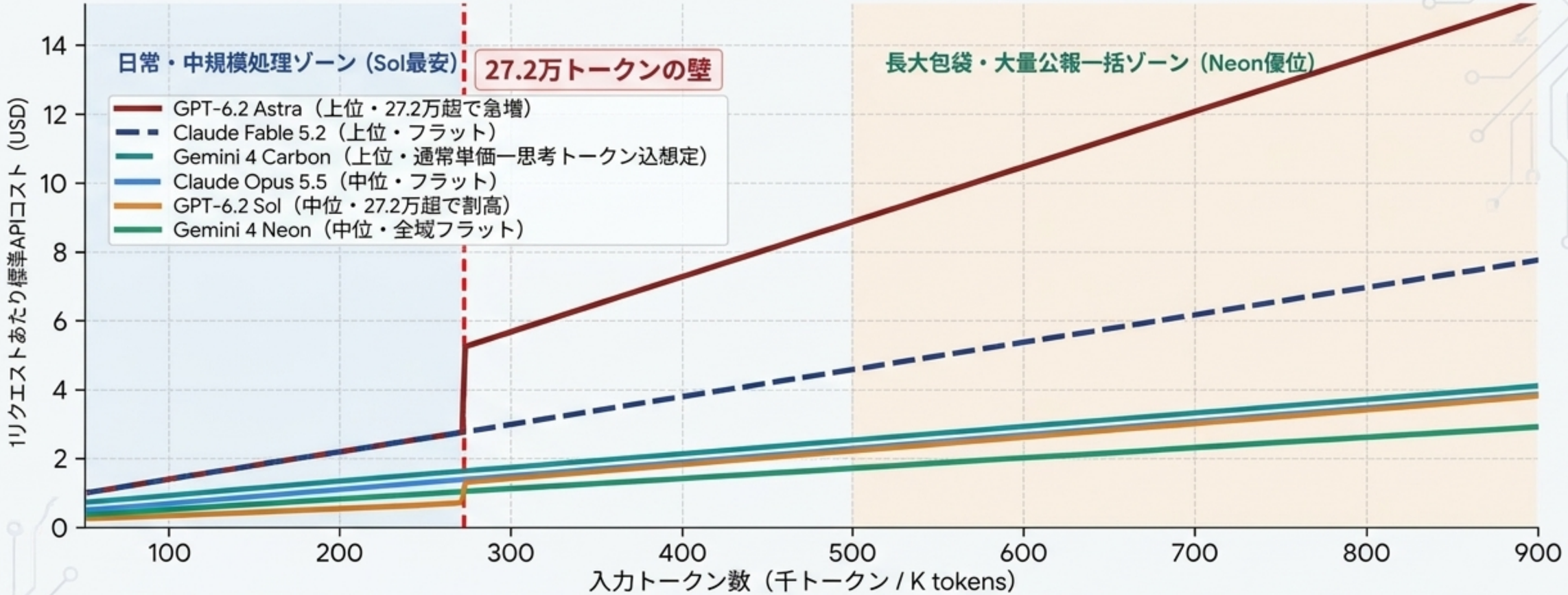


Gemini Notebook

Strategy 4 (Ext): 係争・重要鑑定における上位3モデルのトリアージ



Strategy 5: コスト逆算アーキテクチャと「27.2万トークンの壁」



入力25万トークン未満（個別公報・定型）

➔ **【GPT-6.2 Sol へ自動振り分け】**
標準$2/$10で6モデル中最安。
日常業務を圧倒的低コストで処理。

入力30万〜90万トークン（長大包袋・大量公報一括）

➔ **【Gemini 4 Neon へ自動振り分け】**
100万全域でフラット料金（$3/$15）。
長大コンテキストにおいてSol/Astraをコストで逆転。

Gemini Notebook

Strategy 5 (Ext): 料金構造のハックと最適化（APIコスト削減策）



反復壁打ち (Prompt Caching)

- 用途：同一引例セットを固定し、何十往復もクレームや反論ロジックを練り直す。
- Hack：GPT-6.2 Sol（$0.10）またはClaude Opus 5.5 ($0.20）のキャッシュ読取を利用。文脈維持コストをほぼゼロに圧縮。



夜間一括処理 (Asynchronous Batch)

- 用途：パテントマップ作成、週次SDI要約、長大明細書の事前翻訳。
- Hack：Gemini 4 Neon Batch (50%オフ)、Claude Opus 5.5 Batch (50%オフ)、GPT-6.2 Sol Background (40%オフ)へ非同期投入。



思考トークン制御 (Thinking Control)

- 特性：Gemini 4系は内部思考トークンを出力単価で課金。Carbonは大量消費する。
- Hack：日常業務は思考量を4段階指定できるNeonを利用。※Carbon導入半額CP（11/30迄）終了後は難所のみに限定。

Gemini Notebook

組織プロファイル別：推奨コア・アーキテクチャ

【特許事務所 (出願・中間処理重視チーム)】

- **日常の主力機 (Mid) :**
  Claude Opus 5.5
  (明細書・意見書執筆、記載要件点検、キャッシュ壁打ち)
- **難所・監査専用機 (Top) :**
  Claude Fable 5.2 & GPT-6.2 Astra
  (※医薬・バイオ・サイバー案件はAstra優先)
- **重点運用ルール :**
  クレーム骨格設計と進歩性反論の筋道のみ上位モデルで策定し、本文展開はOpus 5.5で高速化。異種モデルで審査官ロール監査を実施。

【企業知財部 (調査・FTO・マップ重視チーム)】

- **日常の主力機 (Mid) :**
  Gemini 4 Neon & GPT-6.2 Sol
  (Neon:大量公報×表計算・翻訳 / Sol:25万以下の高速選別)
- **難所・監査専用機 (Top) :**
  Gemini 4 Carbon & GPT-6.2 Astra
  (Carbon:図面対比 / Astra:経営層向けFTO報告)
- **重点運用ルール :**
  27.2万トークン閾値を基準にSolとNeonを自動振り分け。重要FTO・係争案件のみ上位モデル合議で争点を抽出。

Gemini Notebook

知財品質管理とAIガバナンスの絶対原則（Iron Rules）



Rule 1: ゼロデータ保持（Zero Data Retention）の徹底

未公開の発明情報を入力する際は、学習非利用とゼロデータ保持が契約上保証されたAPI/エンタープライズ環境を必ず使用。特許法第29条の新規性喪失および守秘義務違反を物理的に遮断する。

Rule 2: Human-in-the-Loop（原典照合の義務）

AIのハルシネーション（段落番号のズレや技術常識の過度な補完）を防ぐため、意見書や鑑定書に引用する公報番号・請求項・段落記載は、必ず人間が原典公報と突合・検証する。

Rule 3: 包袋禁反言（Estoppel）の防止

AIが起案した意見書案は、拒絶を回避しようとして技術的範囲を過度に限定解釈しがちである。将来の均等論主張を塞ぐ「意識的除外」の認定を避けるため、不要な限定主張の削除を人間が厳格に監査する。

Gemini Notebook

2026 IP Workflow Ecosystem（統合アーキテクチャの未来）



Top-Tier Audit & Escalation Ring
深層推論・紛争解決・監査 (Fable 5.2 / Astra / Carbon)

人間の知財専門家 (The Human Core)
高速・低コストの大量定型処理 (Opus 5.5 / Sol / Neon)

Top-Tier Audit & Escalation Ring
深層推論・紛争解決・監査 (Fable 5.2 / Astra / Carbon)

- 【適材適所のハイブリッド】ベンチマーク順位ではなく、コスト閾値・ドメイン特性でルーティングする。
- 【異種合議による監査】単一AIを信じず、他社モデル同士を対立させ、相互に検証させる。
- 【人間の最終防衛線】生成AIが構造的重労働を担い、人間が「真実」と「法的リスク」の番人となる。

単一の最強AIを探す時代は終わり、最適に構成された「AIアーキテクチャ」を設計する時代へ。

Gemini Notebook